

ごあいさつ



取締役頭取

古出 哲彦

皆さまには、日頃より大光銀行グループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまの大光銀行グループに対するご理解をより深めていただけますよう、本年も「大光銀行ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。本誌では、経営方針や最近の業績、将来に向けたビジョン、各種業務のご案内や取組み施策など幅広い項目について、できるだけ具体的にわかりやすくご紹介させていただいておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、このところの地域経済は、景気に明るい兆しは見えつつあるものの、安定感に乏しい情勢が続いております。また、中長期的には人口減少や少子高齢化に加え、企業の海外進出の加速などが社会面、経済面に大きな変化をもたらすことが予想されております。

このような環境のなか、地域金融機関に対しては、地域密着型金融の中心的な担い手としてコンサルティング機能を従来以上に発揮し、お客さまの抱える経営課題に対するソリューションの提案と新たな成長力の創出支援を通じて地域社会・経済の活性化に貢献していくことが期待されております。

こうした諸課題に対処すべく、当行では昨年4月にスタートしました第9次中期経営計画「プラスα計画 ～感謝を笑顔に、笑顔から信頼へ～」をスピーディかつ着実に実行し、円滑な資金供給や付加価値をプラスした金融サービスの提供を通じて地域社会・経済の活性化に貢献していくとともに、外部環境の変化に対しても揺らぐことのない、強靱な経営体質の構築に努めてまいります。

今後とも皆さまのご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努めてまいりますので、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成25年7月